

# 人と人をつなぐ喫茶店

～プリンマップで防災意識を高める～



東京都立科学技術高等学校  
プリンで防災@都科技



Tokyo Metropolitan High School of Science and Technology

## 取り組みのきっかけ

最近、SNSで喫茶店のプリン(新橋・ハックルン)を見て、とても魅力を感じた。自身が居住する東京都江戸川区には、昔からある喫茶店やお店、史跡がいくつか残っている。そして、江戸川区を調べているうちに、江戸川区が昔から水害問題に悩まされていることを知った。なので自分が興味のある「喫茶店のプリン」をキーワードにまち歩きを実施した。喫茶店を巡っているうちに喫茶店が**コミュニティの場**であり、コミュニティの再生という観点から「喫茶店」はキーワードになると考えた。

## 研究の目的

喫茶店の人々と地域の人々の「架け橋」としての仕組みと、江戸川区の現状を知ってもらうために「江戸川区内プリンマップ」(図1参照)を作成することで、新たなコミュニティの形成と地域の再考に繋げることができるのではないかと考えた。



## 江戸川区について

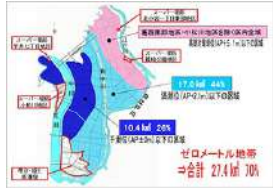


図1 江戸川区スーパー堤防構想

図2 荒川のスーパー堤防

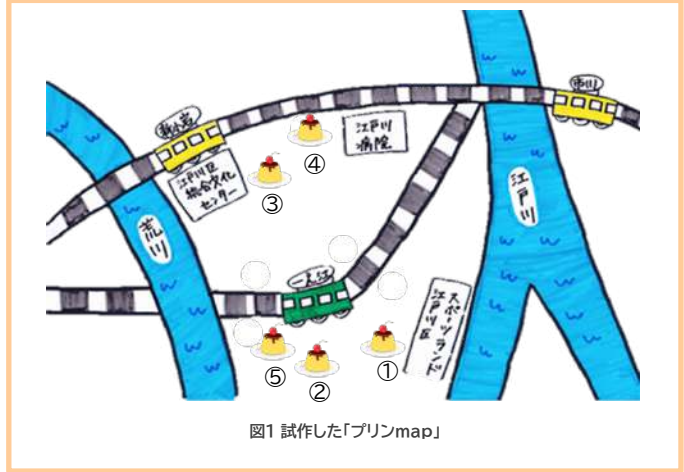


図1 試作した「プリンmap」

## 事例調査 1

江戸川区「谷河内南町会」では、防災まち歩きという地域の防災計画の策定に向けて、自分たちの住んでいるまちを防災の視点で実際に見て歩き大規模災害に備えるために行われました。

## 事例調査 2

東京都練馬区では、としまえん跡地の「映画の舞台裏を探索できる施設」のオープンに合わせて、魔法を切り口にした様々なプロジェクトを展開しています。開園から94年も愛された「としまえん」に代わる新たな街のシンボルをより多くの人に知ってもらい、訪れた人々が、少しでも練馬を好きになってもらうことを目的としたプロジェクトです。

## 仕組みづくり

本研究の中心である「喫茶店」はコミュニティの再構築につながると仮説を立てた。江戸川区内の喫茶店のプリンをマッピングしてプリンを題材としてまち歩きをした。それを元に「江戸川区プリンマップ」を制作した(試作)。そこで、まち歩きをしながら喫茶店を巡った時に、店主の人々と話している時に「コミュニティの中心になる」と着想した。



ポスター展「喫茶店の人々」を開催することにより、地域の人々が地元の「喫茶店の素顔」を知ることによって、世代を超えたコミュニティが形成されるのではないかと考えた。

## 今後の展開

- ①江戸川区内の喫茶店の取材は現在5店舗までできている。しかし、まだまだ、喫茶店はあるので、最低でも10店舗まで拡大させたい。
- ②プリンマップには江戸川区の逸話や史跡、江戸川区についてを同時に掲載して、まち歩きが充実したものになるように仕組みを作る。
- ③「喫茶店の人々」のポスターが10店舗程度まで増えた段階で、江戸川区役所と交渉して、ポスター展「喫茶店の人々」展を開催する。また、江戸川区環境フェア(毎年6月開催)にも出展して、地域コミュニティの構築の場として機能させていきたい。



## 参考文献

[1]江戸川区役所ホームページ(https://www.city.edogawa.tokyo.jp/documents/130/kourei/ka.pdf 2023.09.19閲覧)  
 [2]東京府の飲食業の概況(https://www.kan-kyo.metro.tokyo.lg.jp/basic/conf/erence/resource/cat/files/301012-zyoukyou.pdf 2023.09.19閲覧)  
 [3]独立行政法人経済産業研究所(https://coffee.akica.or.jp/data/ 2023.09.19閲覧)  
 [4]森田由之、本田智也「高校生と商店街の協働による商店街活性化モデルの構築」、住居研究実践報告書、49巻、pp.271-280、2023。  
 [5]CONCON 防災を考える(第三回) 3.11後の東京都の防災対策について～ゼロメートル都市・江戸川区の防災まちづくり～江戸川区の70%がゼロメートル地帯だよ  
 [6]国土文書館 荒川のスーパー堤防(東京都江戸川区より)